新たな成長を求め海外進出も

医薬品卸企業

日本における医薬品流通の中核を担っているのは医薬品卸企業であるが、卸業界は現在、国内外に大きな課題を抱えている状況にある。国内では、市場実勢価に基づく自由経済活動が今後もできるかどうかの瀬戸際に立たされており、保険制度下で公定価（薬価）が決まっている医療用医薬品の流通改善と、今年度から試行がスタートした新薬創出・適応外薬解消等促進加算における適正な価格妥結交渉が、関係者の努力によって進められている。一方、国際化の波は医薬品卸にも影響を与えつつあり、大手卸企業はいずれも中国などに市場を求めて進出している。国内外の課題に対して、現在の姿の卸存続を懸け、非常に厳しい挑戦が続いている。

薬価をはじめ、メーカーの卸への仕切価、卸の医療機関・調剤薬局への納入価などが複雑に設定されている関係から、卸の業績は、価格の交渉次第で決定すると言っても過言ではない。

もちろん、一般商材ではない医薬品という流通を担っているのだから、安心・安全・安定的に、かつ毛細血管のように全国津々浦々にまで必要な時に必要な量の医薬品を届けているほか、万一に備えて医療用医薬品の流通の社会的に重要な使命であるロット単位の回収に対しても、万全のトレーサビリティ体制を敷いている。

さらに、ＭＳ（マーケティング・スペシャリスト）と呼ばれる営業職が、メーカーＭＲの手が回らない診療所の医師へ製品プロモーション活動までも展開している。

この独特の機能は諸外国の卸にはないものであり、日本医薬品卸業連合会の別所芳樹会長（スズケン会長）が自ら“世界に冠たる”を付して、日本型医薬品卸ビジネスモデルと称している。昨年９月に、韓国で開催されたＩＦＰＷ（国際医薬品卸連盟）ソウル総会で、この日本型ビジネスモデルの優位性を、エビデンスを用いて世界に発信したところである。

卸は業界を挙げて、流通改善に取り組んでいる。実は、医療用医薬品の流通過程においては、独特というか、通常の商売では信じられない商慣習が存在する。価格を決めずに商品を入れる「未妥結・仮納入」が行われる。また、薬価を定める際には単品単価の市場実勢価が必要だが、実際にはひとまとめにした「総価取引」が行われ、対メーカー取引では一次売差がマイナスとなる事態も生じている。

４大卸のメディパル・ホールディングス（ＨＤ）、アルフレッサＨＤ、スズケン、東邦ＨＤはいずれも売上高１兆円を超す巨大企業だが、その利益は何とも心許ない状況だ。これまで効率化のアップ、販管費等コストの削減に努力してきたが、それも限界に近づきつつある。

今年度から導入された新薬創出加算への対応（価格交渉）も含めた流通改善の成否は、卸業界、卸企業の将来を大きく左右する。今年も存亡を懸け、各企業は背水の陣で臨む決意を表明している。

東邦薬品・城西医専部

渡辺　涼香さん

守備範囲が広い「管理薬剤師」

医薬品卸ビッグ４の１つである東邦ホールディングスの完全子会社・東邦薬品における薬剤師の仕事を紹介する。東邦薬品では、薬剤師の仕事として各営業所に必ず設置される管理薬剤師（都道府県へ届け出）、ほとんどが薬剤師である本社の薬事医薬情報部、そして、他の卸にはない出向薬剤師の３つがあり、多くの薬剤師が仕事に就いている。城西医専部杉並・中野営業所の管理薬剤師である渡辺涼香さんに、医薬品卸の薬剤師業務内容などを聞いた。

多面性にやりがい

管理薬剤師には、薬事関連、品質管理、教育研修、情報管理（ＤＩ）の４大業務がある。卸は向精神薬、麻薬なども扱っているため、法律に抵触しないよう、それらを販売して問題ない相手（届け出、更新等）なのかを確認する重要な作業が薬事関連業務だ。

品質管理では、医薬品のきめ細かい温度設定管理の徹底、衛生面での問題もチェックして改善を指示する。また、教育研修では、毎月実施しているＭＳに対する研修も担う。さらに、薬事法改正によって配送、物流担当のパート従業員に対する教育研修も必須となったため、これも管理薬剤師が主導的に携わって行っている。日常的に、各種専門紙などから得られた情報をＭＳに伝える業務も担っている。

また、得意先からの問い合わせに答えるＤＩ業務は、薬剤師の専門性が求められる仕事の１つだ。営業所の管理薬剤師が答えられない場合でも、本社が対応するフォローアップ体制が整っている。

これらの業務は毎日必ず行っているわけではないが、東邦薬品では向精神薬、覚せい剤原料の配送などに関しては、毎日必ず管理薬剤師が関与して、問題が発生しないよう万全を期している。

るという。そのほか、毎日発生している返品処理に関しても、社内規定への合致、期限、包装変更の有無などをチェックしているようだ。

渡辺さんは、卸の薬剤師業務に関して、「調剤業務よりは仕事の波があって、自分の時間も持てます。当社では、営業所での管理薬剤師業務のほか、本社では薬事医薬情報で関連ツールの作成、派遣では実際に調剤業務ができるので、いろいろな仕事に興味がある私には、大変面白い職場です」と、現在の仕事に対するやりがいと満足感を語った。

元氣創造

第３類医薬品

第２類医薬品

● 滋養強壮　● 虚弱体質

湧永製薬は日本専門薬局同志会（日専同）を応援しています。

日本専門薬局同志会についてのお問い合わせは
TEL 03-3259-1008
日本専門薬局同志会（日専同）事務局まで

湧永製薬株式会社　大阪市淀川区宮原4丁目5-36
http://www.wakunaga.co.jp/

「スペシャリティーファーマ」を目指して。

当社は、日本薬局方が制定された翌年の1888年（明治21年）に、日本薬局方医薬品メーカーとして創業いたしました。以来、堅実経営を旨とし、医薬品の研究・開発・製造・販売を通じて、医療の発展に寄与し、健康と福祉に貢献できるよう努力しております。

会社概要
■創　　立　昭和11年11月5日（創業明治21年）
■資 本 金　2億8500万円
■事 業 所　本社・今津工場・中央研究所
■社 員 数　481人
■事業内容　日本薬局方医薬品その他
　　各種医薬品等の製造販売

募集要項
■募集職種　MR
■初 任 給　大卒:215,000円
　　修士:233,600円
■賞　　与　年1回（7月）
■休日・休暇　完全週休2日制（土・日・祝）
■そ の 他　社保関係完備

丸石製薬株式会社

*詳しくはホームページをご覧頂くか以下までお問合せ下さい。
マルイシホームページ　http://www.maruishi-pharm.co.jp/
お問合せ電話番号:06-6964-3100　人事・総務部　採用担当